



CHAPTER 9

個別の Cisco Unity Connection 9.x アカウントの追加

次の項を参照してください。

- 「Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) 設定での Cisco Unity Connection 9.x ユーザ アカウントの作成」 (P.9-1)
- 「Cisco Unity Connection の管理での Cisco Unity Connection 9.x ユーザ アカウントの作成」 (P.9-2)

Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) 設定での Cisco Unity Connection 9.x ユーザ アカウントの作成

Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) では、Cisco Unified CM の管理のユーザ管理ページで個々のユーザ アカウントと管理者アカウントを作成します。アカウントは、Cisco Unity Connection の管理で作成または変更したテンプレートとサービス クラスに基づきます。

ボイス メールボックスがあるユーザはエンド ユーザです。ボイス メールボックスがないユーザはシステム管理者（またはアプリケーション ユーザ）です。Connection のエンド ユーザを追加したら、Cisco Unified CM の管理でエンド ユーザ ボイス メールボックスを設定できます。その他の設定は、必要に応じて、Connection の管理のユーザ アカウント ページから変更できます。

Cisco Unified CM の管理での Connection アカウントの追加および設定方法については、Cisco Unified CM の管理のオンライン ヘルプを参照してください。また、タスク リストや関連項目については、該当する『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「End User Configuration」と「Application User Configuration」の章を参照してください。このガイドは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps7273/prod_maintenance_guides_list.html から入手可能です。

Cisco Unified Communications Manager からの複数ユーザのインポート方法については、「Cisco Unified Communications Manager ユーザから複数の Cisco Unity Connection 9.x ユーザ アカウントを作成する方法」を参照してください。

Cisco Unity Connection の管理での Cisco Unity Connection 9.x ユーザ アカウントの作成

ボイス メールボックスがあるユーザはエンド ユーザです。ボイス メールボックスがないユーザはシステム管理者です。個別にユーザ アカウントを追加する前に、追加するアカウントのタイプごとにテンプレートとサービス クラス (CoS) を選択して定義する必要があります。管理者アカウントの場合は、各アカウントに割り当てる役割を選択する必要があります。Cisco Unity Connection アカウントを追加する前に実行する必要があるタスクの詳細については、「[Cisco Unity Connection 9.x でのユーザ アカウント追加の準備](#)」を参照してください。

エンド ユーザと管理者の個々のアカウントを追加するには、この章の該当するセクションを参照してください。

- 「[エンド ユーザ アカウントの追加 \(ボイス メールボックスがあるユーザ\)](#)」 (P.9-2)
- 「[Cisco Unity Connection グリーティング管理者にアクセスするためのエンド ユーザ アカウントの追加 \(ボイス メールボックスがあるユーザ\)](#)」 (P.9-5)
- 「[管理者アカウントの追加 \(ボイス メールボックスがないユーザ\)](#)」 (P.9-3)



(注)

組織内のシステム管理者にボイス メールボックスが必要な場合は、システム管理者ごとに別々のアカウント (Connection の管理にサインインして管理タスクを実行するために使用するボイス メールボックス アカウントがないユーザ アカウントと、ボイス メッセージの送受信に使用するボイス メールボックスがある別のユーザ アカウント) をセットアップすることを推奨します。

エンド ユーザ アカウントの追加 (ボイス メールボックスがあるユーザ)



(注)

このセクション内の情報は、Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) でエンド ユーザ アカウントを追加する場合には該当しません。この場合は、「[Cisco Unified Communications Manager Business Edition \(CMBE\) 設定での Cisco Unity Connection 9.x ユーザ アカウントの作成](#)」(P.9-1) を参照してください。

デフォルトのボイス メール PIN と Web アプリケーション パスワードが、作成した各ユーザ アカウントに適用されます。これらの PIN とパスワードは、インストール中のデフォルト ボイス メール ユーザ テンプレートのデフォルト セットと、アカウントの作成中に選択したユーザ テンプレートの [パスワードの変更 (Change Password)] ページで設定したデフォルトのどちらかです。これらの PIN とパスワードをユーザに付与して、ユーザが Connection カンパセーションと Cisco Personal Communications Assistant (PCA) にサインインできるようにする必要があります。システムのセキュリティを強化するために、ユーザにはできるだけ早く PIN とパスワードの両方を変更するように指示することと、PIN とパスワードに複雑さのルールを適用することを推奨します。

次の手順を使用して、ボイス メールボックスがある単一のユーザ アカウントを追加します。

エンド ユーザ アカウントを追加するには (ボイス メールボックスがあるユーザ)

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[ユーザ (Users)] を選択します。
- ステップ 2** [ユーザの検索 (Search Users)] ページで、[新規追加 (Add New)] を選択します。[ユーザの新規作成 (New User)] ページが開きます。

- ステップ 3** [ユーザ タイプ (User Type)] リストで、[メールボックスがあるユーザ (User With Mailbox)] を選択します。
- ステップ 4** [ベースにするテンプレート (Based on Template)] リストで、[voicemailusertemplate (VoiceMailUserTemplate)] を選択します。
- ステップ 5** アスタリスク (*) が付けられた次の 2 つの必須フィールドに情報を入力します。
- エイリアス (Alias)
 - 内線番号 (Extension)
- ステップ 6** 必要に応じて、オプション フィールドに情報を入力します (フィールドの詳細については、[ヘルプ (Help)] メニューの [このページ (This Page)] を選択してください)。
- 値を入力しなかった場合は Connection でエイリアスを使用して SMTP アドレスが生成されるという意味で、[SMTP アドレス (SMTP Address)] フィールドはオプションであることに注意してください。ただし、SMTP アドレスには非 ASCII 文字を含めることができません。そのため、ユーザ エイリアスに非 ASCII 文字が含まれていた場合は、受け入れ可能な SMTP アドレスを入力する必要があります。
- ステップ 7** [保存 (Save)] を選択します。ユーザ アカウントが作成され、[ユーザの基本設定の編集 (Edit User Basics)] ページが開きます。
- ステップ 8** 必要に応じて、追加の情報を入力します。ページ上で設定を変更した場合は、[保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 9** 必要に応じて、[編集 (Edit)] メニュー上のページから、テンプレートまたは COS 内で有効になっていない機能を有効にするようにアカウントを変更します。ページ上で変更を実施した場合は、別のページに移動する前に [保存 (Save)] を選択します。
- 有効にすることができる機能の詳細については、「[Cisco Unity Connection 9.x のユーザ アカウント設定で制御される機能のセットアップ](#)」と「[Cisco Unity Connection 9.x のサービス クラスで制御される機能のセットアップ](#)」を参照してください。

管理者アカウントの追加 (ボイス メールボックスがないユーザ)



(注) このセクション内の情報は、Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) で管理者アカウントを追加する場合には該当しません。この場合は、「[Cisco Unified Communications Manager Business Edition \(CMBE\) 設定での Cisco Unity Connection 9.x ユーザ アカウントの作成 \(P.9-1\)](#)」を参照してください。

ボイス メールボックスがないユーザはシステム管理者です。組織内のシステム管理者にボイス メールボックスが必要な場合は、システム管理者ごとに別々のアカウント (Connection の管理にサインインして管理タスクを実行するために使用するボイス メールボックス アカウントがないユーザ アカウントと、ボイス メッセージの送受信に使用するボイス メールボックスがある別のユーザ アカウント) をセットアップすることを推奨します。

管理者アカウントを作成する場合は、次のセキュリティ上の問題を考慮してください。

- デフォルトで、ボイス メールボックスがないユーザ テンプレートでは、最上位特権を持つ管理者の役割であるシステム管理者の役割が指定されます。
- デフォルト Web アプリケーション パスワードが、作成した各管理アカウントに適用されます。新しいアカウントがデフォルト管理者テンプレートに基づいている場合は、そのアカウントに関連付けられたデフォルト パスワードがランダムに生成された文字列であることに注意してください。したがって、新しい管理アカウントがデフォルト管理者テンプレートに基づいている場合は、最初

に、そのテンプレートの新しいデフォルト パスワードを入力してランダムに生成された文字列を置き換えるか、新しいアカウントを作成するたびにパスワードを変更するようにしてください。システムのセキュリティを強化するために、管理者にはできるだけ早くパスワードを変更するように指示することと、パスワードに複雑さのルールを適用することを推奨します。

次の手順を使用して、ボイス メールボックスがない単一の管理者アカウントを追加します。

管理者アカウントを追加するには（ボイス メールボックスがないユーザ）

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[ユーザ (Users)] を選択します。
- ステップ 2** [ユーザの検索 (Search Users)] ページで、[新規追加 (Add New)] を選択します。[ユーザの新規作成 (New User)] ページが開きます。
- ステップ 3** [ユーザタイプ (User Type)] リストで、[メールボックスがないユーザ (User Without Mailbox)] を選択します。
- ステップ 4** [ベースにするテンプレート (Based on Template)] リストで、[administratortemplate (AdministratorTemplate)] を選択します。
- ステップ 5** [エイリアス (Alias)] フィールドに、アカウントのエイリアスを入力します。
- ステップ 6** 必要に応じて、オプションフィールドに情報を入力します（フィールドの詳細については、[ヘルプ (Help)] メニューの [このページ (This Page)] を選択してください）。
値を入力しなかった場合は Connection でエイリアスを使用して SMTP アドレスが生成されるという意味で、[SMTP アドレス (SMTP Address)] フィールドはオプションであることに注意してください。ただし、SMTP アドレスには非 ASCII 文字を含めることができません。そのため、ユーザエイリアスに非 ASCII 文字が含まれていた場合は、受け入れ可能な SMTP アドレスを入力する必要があります。
- ステップ 7** [保存 (Save)] を選択します。管理者アカウントが作成され、[ユーザの基本設定の編集 (Edit User Basics)] ページが開きます。
- ステップ 8** [ユーザの基本設定の編集 (Edit User Basics)] ページで、必要に応じて、追加の情報を入力します。ページ上で設定を変更した場合は、[保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 9** [編集 (Edit)] メニューで、[役割 (Roles)] を選択します。
- ステップ 10** [役割の編集 (Edit Roles)] ページの [割り当て済みの役割 (Assigned Roles)] フィールドまたは [使用可能な役割 (Available Roles)] フィールドで、役割名を選択してから、上矢印または下矢印を選択して役割を該当するフィールドに移動します。
- ステップ 11** [割り当て済みの役割 (Assigned Roles)] フィールドに管理者に適用可能なすべての役割が表示されたら、[保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 12** [編集 (Edit)] メニューで、[パスワードの設定 (Password Settings)] を選択します。
- ステップ 13** [パスワードの設定の編集 (Edit Password Settings)] ページで、Connection の管理にアクセスするときに管理者が使用するパスワードの設定を入力します。
- a. [次回サインイン時に、ユーザによる変更が必要 (User Must Change at Next Sign-In)] チェックボックスがオンになっていることを確認します。このチェックボックスがオンになっている場合は、管理者が初めてサインインしたときにパスワードの変更が要求されます。
 - b. [認証規則 (Authentication Rule)] リストで、該当する規則を選択します。
- ステップ 14** [保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 15** [編集 (Edit)] メニューで、[パスワードの変更 (Change Password)] を選択します。
- ステップ 16** [パスワードの変更 (Change Password)] ページの [パスワード (Password)] フィールドに、パスワードを入力します。パスワードは、パスワードの複雑さに関する次の要件を満たす必要があることに注意してください。

- 最大長要件 ([認証規則の編集 (Edit Authentication Rule)] ページの [最小クレデンシャル長 (Minimum Credential Length)] フィールドで設定されたように)
- 次のカテゴリの中から 1 つ以上の文字を含めること : 大文字、小文字、数字、および記号 (~!@#\$%^&*"'',.:;?-_() [] < > { } += / \ |)
- 同じ文字が 4 つ以上連続しないこと (たとえば、aaaaB1C9 は無効です)
- 管理者のエイリアスまたは名前を含めないこと

ステップ 17 [パスワードの確認 (Confirm Password)] フィールドにもう一度パスワードを入力します。

ステップ 18 [保存 (Save)] を選択します。

Cisco Unity Connection グリーティング管理者にアクセスするためのエンドユーザ アカウントの追加 (ボイス メールボックスがあるユーザ)



(注)

このセクション内の情報は、Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) でエンドユーザ アカウントを追加する場合には該当しません。この場合は、「Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) 設定での Cisco Unity Connection 9.x ユーザ アカウントの作成」(P.9-1) を参照してください。

次の手順で、追加したユーザ アカウントに割り当てた役割が Cisco Unity Greetings Administrator へのユーザ アクセスを提供します。これは管理役割ですが、管理者用のユーザ アカウント設定の多くは、Connection の管理にアクセスできないユーザ アカウントには適用されません。

グリーティング管理者を設定するには、『System Administration Guide for Cisco Unity Connection』(Release 9.x) の「Managing Recorded Greetings and Recorded Names in Cisco Unity Connection 9.x」の章にある「Setting Up the 9.x Cisco Unity Greetings Administrator」の項を参照してください。このドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html から入手可能です。

グリーティング管理者用のアカウントを追加するには

ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、[ユーザ (Users)] を選択します。

ステップ 2 [ユーザの検索 (Search Users)] ページで、[新規追加 (Add New)] を選択します。

ステップ 3 [ユーザの新規作成 (New User)] ページの [ユーザ タイプ (User Type)] リストで、[メールボックスがあるユーザ (User With Mailbox)] を選択します。

ステップ 4 [ベースにするテンプレート (Based on Template)] リストで、該当するテンプレートを選択します。デフォルトの VoiceMailUserTemplate を使用することも、専用のユーザ テンプレートを作成することもできます。

ステップ 5 エイリアス、姓名、および内線番号を入力します。

値を入力しなかった場合は Connection でエイリアスを使用して SMTP アドレスが生成されるという意味で、[SMTP アドレス (SMTP Address)] フィールドはオプションであることに注意してください。ただし、SMTP アドレスには非 ASCII 文字を含めることができません。そのため、ユーザ エイリアスに非 ASCII 文字が含まれていた場合は、受け入れ可能な SMTP アドレスを入力する必要があります。

ステップ 6 [保存 (Save)] を選択します。

- ステップ 7** [ユーザの基本設定の編集 (Edit User Basics)] ページで、必要に応じて、追加の情報を入力します。ページ上で設定を変更した場合は、[保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 8** [編集 (Edit)] メニューで、[役割 (Roles)] を選択します。
- ステップ 9** [役割の編集 (Edit Roles)] ページの [使用可能な役割 (Available Roles)] フィールドで、[グリーティング管理者 (Greeting Administrator)] を選択してから、上矢印を選択してそれを [割り当て済みの役割 (Assigned Roles)] フィールドに移動します。
- ステップ 10** [保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 11** [編集 (Edit)] メニューで、[パスワードの設定 (Password Settings)] を選択します。
- ステップ 12** [パスワードの設定の編集 (Edit Password Settings)] ページの [パスワードの選択 (Choose Password)] リストで、[ボイスメール (Voicemail)] が選択されていることを確認します。
- ステップ 13** グリーティング管理者が電話で Connection にアクセスするとき使用する電話 PIN の設定を入力します。
- a. [次回サインイン時に、ユーザによる変更が必要 (User Must Change at Next Sign-In)] チェックボックスがオンになっていることを確認します。このチェックボックスがオンになっている場合は、グリーティング管理者が初めてサインインしたときに PIN の変更が要求されます。
 - b. [認証規則 (Authentication Rule)] リストで、該当する規則を選択します。
- ステップ 14** [保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 15** [編集 (Edit)] メニューで、[パスワードの変更 (Change Password)] を選択します。
- ステップ 16** [パスワードの変更 (Change Password)] ページの [パスワードの選択 (Choose Password)] リストで、[ボイスメール (Voicemail)] が選択されていることを確認します。
- ステップ 17** パスワードを入力します。
- ステップ 18** [パスワードの確認 (Confirm Password)] フィールドにもう一度パスワードを入力します。
- ステップ 19** [保存 (Save)] を選択します。
-